

ライフイノベーション(食料革新)学位プログラム(博士前期課程)

共通基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OAS0511	医学概論	1	1.0	1・2	春A	NT	許 東洙, 齊木 臣二, 榎本 剛史, 丸島 愛樹, 森島 祐子, 乃村 俊史, 松本 功, 岡田 浩介, 中島 崇仁, 石津 智子	「医学概論」講義は、さまざまな臨床分野で活躍する経験豊かな医学部の教授陣が、その知識と見識を紹介し、学生は臨床医学各分野の最近情報を包括的に学ぶことができる。医学の分野でキャリアを積みた方と考えている方にも、単に理解を深めたいと考えている方にも、このレクチャーシリーズは学生にとって最適な機会です。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) ・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。
OAS0801	レギュラトリーサイエンス	1	1.0	1・2	春AB	NT	フォンテス セシル ルギヤル, レイジ アンドリュウ パーヅニー, フェルドウシ フアラハナ	レギュラトリーサイエンスは、科学技術基本計画において、「科学技術の成果を人と社会に役立てることを目的に、根拠に基づき確かな予測、評価、判断を行い、科学技術の成果を人と社会とも調査の上で最も望ましい姿に調整するための科学」と定義されている。本講義においては、日本およびヨーロッパにおいて、レギュラトリーサイエンスが、医薬品および医療機器の有効性、安全性、質の保証において果たす重要な役割について、概説する。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
OAXA002	創薬概論	1	1.0	1	春A	月1,2	宮前 友策, 吉富 徹, 佐山 裕行	製薬企業等において、新薬を上市するまでにどのようなプロセスを経る必要があるのか、創薬の戦略について学習する。また、創薬研究に使用されるモデル生物の特徴や、感染症に対するワクチンの開発と実用化について理解を深める。	英語で授業。 オンライン(対面併用型)
OAXA003	食品科学概論	1	1.0	1	春A 春B	集中	市川 創作, 小林 功, 山本 和貴, 池羽田 晶文, 川崎 晋, 日下部 裕子, ダス ネヴェス マルコス アントニオ	In this course, students will learn about food science based on physical, chemical, biochemical, biological, and engineering approach, from the fundamental level to cutting-edge applied science and technology. After a general overview of the course, the lecture will be on “food processing for ensuring food safety”. Food is processed to maximize its quality and to minimize its food safety risks among which microbial hazards mostly cause severe poisoning risks. The lab tour at the Institute of Food Research, NARO will focus on food engineering, food processing, food analysis, food safety, and food functionality. The study of deliciousness deals with a broad overview of taste, including the definition of taste, the classification of taste substances and the history of their discovery, and the structural functions of taste receptors. To quantify safety and deliciousness, scientific analysis is essential. Spectroscopic methods for quick and simple measurements and modern taste sensors will be explained. The last lecture deals with processing before and after food ingestion, especially emulsification, emulsion characterization, and in vitro gastric digestion.	英語で授業。 対面(オンライン併用型) The course schedule will be announced on manaba.
OAXA004	バイオリソース概論	1	1.0	1	秋A	月1,2	高橋 真哉, 大熊 盛也, 吉木 淳, 三輪 佳宏, 榎屋 啓志, 川勝 泰二, 綾部 信哉, 鈴木 健大, 野崎 晋五	本講義ではライフサイエンスイノベーションの推進におけるバイオリソースの重要性とバイオリソースセンターの役割について理解を深めることを目指す。そのために動植物個体、細胞、微生物リソース、及び関連技術、付随情報について、スペシャリストによる講義を受ける。	英語で授業。 対面(オンライン併用型)
OAXA005	自然史概論	5	1.0	1	秋AB	集中	高橋 真哉, 細矢 剛, 中江 雅典	動物学・植物学・人類学・地学における研究例のいくつかを紹介し、自然史研究について概観できるようにすることを旨とする。各分野での概論を講義した後、動物学分野では、動物の進化・分類と多様性について講義を行う。植物学では、植物の進化・分類と多様性について講義を行う。人類学については、人類の進化・分類と多様性について講義を行う。地学については、地球科学、岩石の形成、分類と多様性について講義を行う。それぞれの講義の後、実物の標本についての観察を見学実習にて行い、その理解を深める。	英語で授業。 対面 The course schedule will be announced on manaba.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OAXA006	バイオインフォマティクス概論	1	1.0	1	秋A	集中	櫻井 鉄也, 二村 保徳, 叶 秀彩, 尾崎 遼, 青木 聡志	バイオインフォマティクス分野を支える主要な関連分野である数理アルゴリズム、機械学習、トランスクリプトミクス、メタボロミクス等における基本的な事項を学ぶ。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) The course schedule will be announced on manaba.
OAXA024	ライフノベーションチーム型演習(基礎)	2	1.0	1	春ABC	金1	神谷 俊一, 宮前 友策	In this course, students will learn how innovations in life science field have been brought about from the triggering discovery to their invaluable contributions to human life in the form of available products. Students obtain basic or advanced knowledge through lectures, but they also have to participate in group discussion on various topics that need critical and creative thinking from global perspectives. By playing a role as a discussor, speaker, or moderator in the class, students will be trained to have improved skills in communicating with other people from different fields or different countries.	英語で授業。 対面 主専攻必修科目。
OAXA025	ライフノベーションチーム型演習(発展)	2	1.0	1・2	秋ABC	金1	神谷 俊一, 宮前 友策	Following the course in Spring semester, this Advanced course deals with deeper knowledge in creating new research projects. As in the Basic course, group discussion on various topics that need critical and creative thinking from global perspectives is an important part of this course. By playing a role as a discussor, speaker, or moderator in the class, students will be trained to have improved skills in communicating with other people from different fields or different countries. The mandatory final presentations by all the students should reflect their capabilities and enthusiasm to find important challenges human beings face (or will face) and to create an original project to overcome such challenges.	英語で授業。 対面
OAXA031	博士前期ライフノベーションセミナー	1	1.0	1	春A 春B 秋B	集中	ゴードینگ コリン, フィリパコ ポロス パナギス, メラー ジェーン, オニール エリック, ガードハンセン マッズ, ステイングリムツソン エイリークル, ヒメネス カストディア ガルシア, ラリュー ライオネル, ホワイト リチャード, マルゲート-ジャン タック デル フィーヌ, ダニエラ ロブレス, 平川 秀彦, フェルドウシ ファラハナ	本授業では、海外の協力教員が、ライフサイエンスにおける基礎から最先端の研究トピックに関するセミナーを行う。講師陣とのインタラクティブなやり取りを通して、「どのように経歴を伸ばすか?」や「論文を書くこと、審査プロセス、エディターやレフェリーの見方からみえるもの」について学び、研究者の資質、研究者に必要なプレゼンテーション、ディスカッション、コミュニケーション能力などを学生が獲得することを目的とする。	英語で授業。 対面 対面(オンライン併用型) The course schedule will be announced on manaba.
OAXA043	修士力実践プログラム	3	1.0	1	通年	応談	平川 秀彦	修士号取得者を雇用する企業、公共機関、研究機関、またはそれらをメンバーとする協会などにおいて、実務研修やロールプレイなどを通じて、組織の戦力となるための実践的な力を身につけ、職務上の特定の場面において修士力をどのように効果的に活かすかを学ぶ。	対面

共通専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	------	------	----

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OAXA12F	ライフィノベーション修士研究I	2	3.0	1	秋学期	随時	ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士研究の実施にあたり、最新の専門知識だけでなく研究動向を理解し、研究目的を明確化する。関連研究や最新の研究論文の調査に基づき、具体的な研究計画を立てる。文献調査の結果や研究進捗についてプレゼンテーションやグループディスカッションを行い、俯瞰的・分野横断的な視点を養うだけでなく、必要に応じて研究目的や研究計画を修正する。	対面(オンライン併用型)
OAXA12S	ライフィノベーション修士研究I	2	3.0	1	春学期	随時	ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士研究の実施にあたり、最新の専門知識だけでなく研究動向を理解し、研究目的を明確化する。関連研究や最新の研究論文の調査に基づき、具体的な研究計画を立てる。文献調査の結果や研究進捗についてプレゼンテーションやグループディスカッションを行い、俯瞰的・分野横断的な視点を養うだけでなく、必要に応じて研究目的や研究計画を修正する。	対面(オンライン併用型)
OAXA13F	ライフィノベーション修士研究II	2	3.0	1	秋学期	随時	ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	ライフィノベーション修士研究Iで立案した計画に基づいて、研究スキルを修得しつつ、研究の進捗について議論していく。また、最新の研究動向のさらなる理解に努め、プレゼンテーションやグループディスカッションを通して、自身の研究と他の研究との関連性を見出し、俯瞰的・分野横断的思考力を養う。1年目の研究成果を総括し、今後の研究計画について評価・検討する。	対面(オンライン併用型)
OAXA13S	ライフィノベーション修士研究II	2	3.0	1	春学期	随時	ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	ライフィノベーション修士研究Iで立案した計画に基づいて、研究スキルを修得しつつ、研究の進捗について議論していく。また、最新の研究動向のさらなる理解に努め、プレゼンテーションやグループディスカッションを通して、自身の研究と他の研究との関連性を見出し、俯瞰的・分野横断的思考力を養う。1年目の研究成果を総括し、今後の研究計画について評価・検討する。	対面(オンライン併用型)
OAXA22F	ライフィノベーション修士研究III	2	3.0	2	秋学期	随時	ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	ライフィノベーション修士研究IIにおいて検討された研究計画に基づいて、研究成果を取りまとめしていくことを意識し、研究の進捗を議論していく。研究発表会やジャーナルクラブにおける発表や議論を通して、最新の研究知識だけでなく研究動向の理解に努め、俯瞰的・分野横断的思考力だけでなく批判的思考力を養う。また、研究成果の解釈について議論し、研究のとりまとめに向けた研究計画を評価・検討する。	対面(オンライン併用型)
OAXA22S	ライフィノベーション修士研究III	2	3.0	2	春学期	随時	ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	ライフィノベーション修士研究IIにおいて検討された研究計画に基づいて、研究成果を取りまとめしていくことを意識し、研究の進捗を議論していく。研究発表会やジャーナルクラブにおける発表や議論を通して、最新の研究知識だけでなく研究動向の理解に努め、俯瞰的・分野横断的思考力だけでなく批判的思考力を養う。また、研究成果の解釈について議論し、研究のとりまとめに向けた研究計画を評価・検討する。	対面(オンライン併用型)
OAXA23F	ライフィノベーション修士研究IV	2	3.0	2	秋学期	随時	ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士研究の取りまとめに重点を置き、研究進捗の議論や文献調査を行う。引き続き研究発表会やジャーナルクラブにおける発表や議論を通して、修士にふさわしい研究能力を修得し、研究成果を取りまとめる。研究成果の発表と総括を行い、修士研究を完成させる。	対面(オンライン併用型)
OAXA23S	ライフィノベーション修士研究IV	2	3.0	2	春学期	随時	ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士研究の取りまとめに重点を置き、研究進捗の議論や文献調査を行う。引き続き研究発表会やジャーナルクラブにおける発表や議論を通して、修士にふさわしい研究能力を修得し、研究成果を取りまとめる。研究成果の発表と総括を行い、修士研究を完成させる。	対面(オンライン併用型)

専門科目(食料革新)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OAXA501	食品プロセス工学	1	1.0	1				本講義では、食品プロセス工学、具体的には、食品物理、食品物性を基礎にした種々の単位操作の基本原理、応用について解説する。主な単位操作としては、加熱、凍結、分離、乳化、流動、熱・物質移動、反応操作を扱う。(オムバス方式/全10回)	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 The course schedule will be announced on manaba.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OAXA502	食品機能学	1	1.0	1	秋B	集中	磯田 博子, ラロクミシェル, 山本 万里, 福光 聡, マルゲート-ジャンタック デルフィヌ, フェルドウシ ファラハナ	機能性食品は、栄養的価値に加えて、健康に有益な効果をもつ食品である。本講義においては、特に、がん、アレルギー、神経調節、代謝調節およびそれらの作用機序に関して、機能性食品と生理活性物質について議論する。	英語で授業。 対面(オンライン併用型) オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型) Combination of Online (Synchronous or Asynchronous) and Face-to-face: The course schedule will be announced on manaba.
OAXA503	食品安全学	1	1.0	1	春B	火1, 2	山本 和貴	食品の安全性管理について、化学的・生物的・物理的有害因子、毒性学、殺菌/滅菌、食品安全性規格の観点から、食品安全性の知識を獲得し、考え方を学ぶ。	英語で授業。 対面
OAXA504	食品・医薬品マネジメント学	1	1.0	1	春A	木5, 6	寺崎 直, 山本 信行, 柏木 健一, 白形 由美子, 内海 潤	近年、ライフサイエンス分野の研究成果を基にした製品開発や製品化に関しては、知的財産権の管理が重要になってきている。今後は当該分野の研究者も、これらに関する知識を持ち、自身でもその管理に関わることが課題になっていくと考えられる。本科目では、第一線の専門家により、医薬品・食品ビジネスマネジメントに関わる知財管理、運用、投資について、創薬・機能性食品・薬用化粧品開発の実例を提示してもらい、理解を深める。	英語で授業。 対面(オンライン併用型)